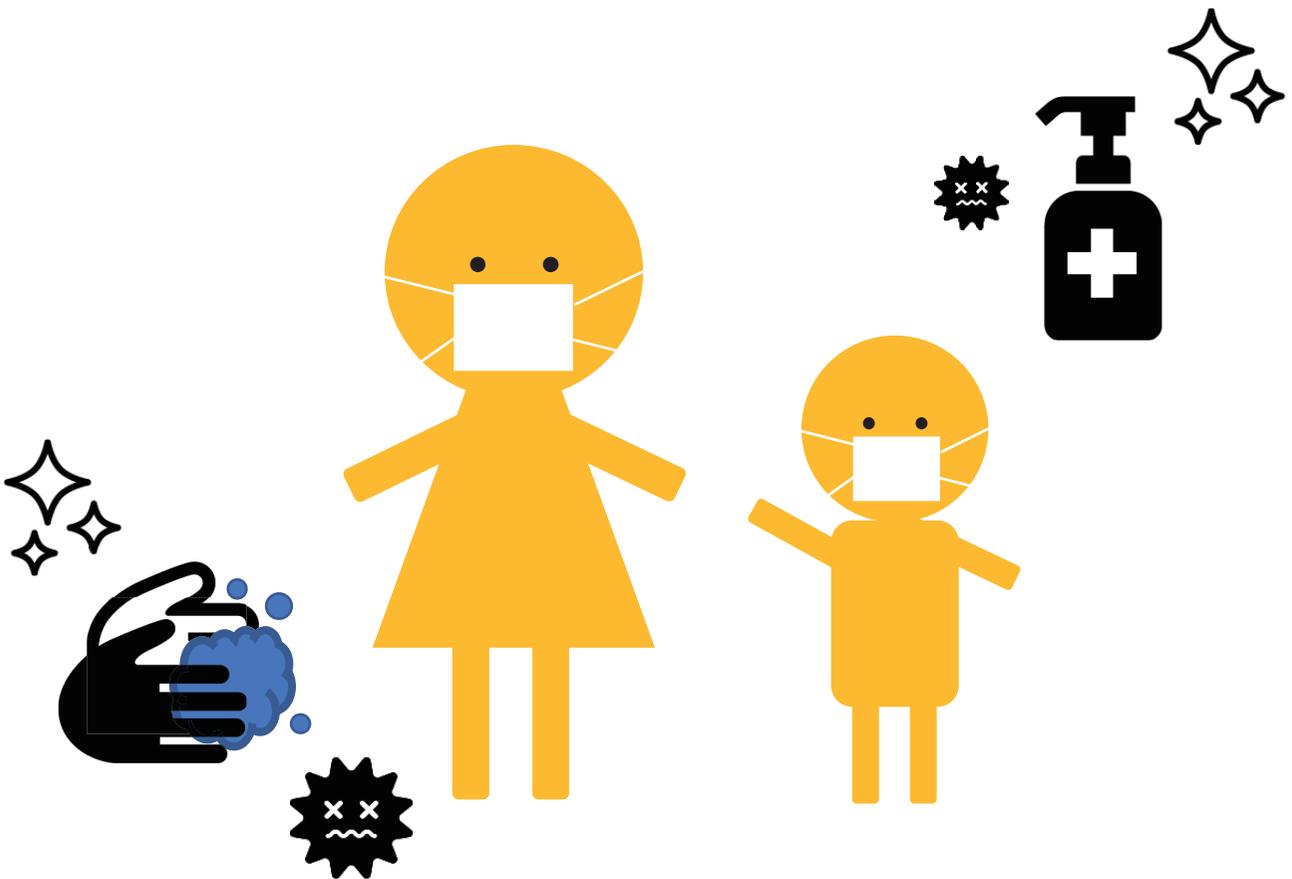


遊べる・学べる淡海子ども食堂
新型コロナウイルス対策ハンドブック

★これ、だいじ★



発行者:滋賀の縁創造実践センター 滋賀県社会福祉協議会

子ども食堂つながりネットワークSHIGA事務局

〈はじめに〉

新型コロナウイルスの流行状況が日々変化する今、子ども食堂の参加者やボランティアはもちろん、子ども食堂にかかわるみなさんは「このやり方でいいのだろうか」「感染対策は足りている?」「しばらく会えなかった子どもたちは来てくれるのかな」等、悩みや不安を抱えておられることと思います。

このハンドブックは、滋賀の130（令和2年6月1日現在）の子ども食堂の皆さんからお聞きした、再開に向けての不安や課題も踏まえ、今できる感染対策や注意点を掲載しています。子ども食堂の活動をされる際や、活動再開に向けて検討される際の参考にしていただく他にも、地域の皆さんに「こんな対策をしているので安心してきてくださいね」と声かけられる一助になればと思います。

子ども食堂は、人数規模や開催する環境、かかわる人たちの世代等もさまざまです。これまで以上にスタッフ同士や関係機関とのコミュニケーションを大切に、それぞれの状況に応じてこのハンドブックを活用していただければ幸いです。

感染対策をしっかりと行い、「遊べる・学べる淡海子ども食堂」が地域の子どもから大人までみんなの笑顔があふれる場であり続けられるよう、支え合いながらこの危機をともに乗り越えましょう。

令和2年6月23日
子ども食堂つながりネットワークSHIGA事務局



※新型コロナウイルス感染予防対策は未だ流動的であり、今後の国の動向等により本ハンドブックの内容が変わる場合があります。

－ もくじ －

1. 子ども食堂の開催におけるチェックポイント

(1) 準備段階でできることp1

(2) 当日に注意することp2～4

- ①会場の準備 ②スタッフの準備
- ③参加者に対して ④食事や遊びのときの工夫 ⑤その他

2. こんな工夫もできるかも！

実践者からのアイデアp4

3. Information(お知らせ)



1. 子ども食堂の開催におけるチェックポイント

■準備段階でできること

①開催する地域の状況を十分考慮する。

確認してチェック☑

地域で感染が報告されている場合等は、開催は控える。

②どのような形で開催するか決める。 ※p4「こんな工夫もできるかも！」参照

スタッフやボランティア一人ひとりの気持ちや考えを大事にし、開催について共有できるようにしましょう。



③開催を周知する

確認してチェック☑

当日は自由参加ではなく、できるだけ事前申し込み制にし、場合によっては人数制限も設ける。(万が一感染が確認された時などに連絡をとれるよう、連絡先も聞いておく)

◎案内チラシ等を作成する場合は、下記のような内容を掲載しておきましょう。(例)



■以下の人は参加をお控えください。★

- ・発熱、鼻水、咳など風邪症状のある人
- ・同居家族や職場などに「濃厚接触者」「健康観察対象者」がいる人
- ・2週間以内に海外から帰国した人、およびその同居家族
- ・コロナに感染した際に重症化しやすい基礎疾患(心臓病、糖尿病、呼吸器疾患等)のある人

■原則として小学生以上の参加者はマスク着用で参加してください。(熱中症等の危険もあるので、人との距離をとって外してもらうこともあります。)

■会場では、検温、アルコール消毒液による手指消毒をしてもらいます。

感染への不安から、子ども食堂に参加しづらい人もいるかもしれませんが、それぞれが安心して参加する・しないを判断できるような情報と運営側の思いが伝わるようにできるとよいですね。



④その他

確認してチェック☑

スタッフは、日頃から「密閉・密集・密接」の3密を避け、健康状態の維持に留意する。

地域からのご意見やお問い合わせがあったとき、適切に対応できる責任者を決めておく。

可能な限り、対策の内容を地域の方々や関係機関(学校、市町社協等)に周知する。

■当日に注意すること

①会場の準備

確認してチェック☑

- 十分な広さで換気できる場所を準備し、1時間ごとに数分程度換気を行う。
- 適切な数量のマスク、ハンドソープ、アルコール消毒液を準備する。
- 可能な限り、「密閉・密集・密接」を避けるレイアウトをつくり、参加者が対面したり、混雑したりすることがないように人の動線を工夫する。
- 受付をすることは、列になるところの足元に線をひくなど、参加者同士が距離をとれるようにする。
- 共用部分(みんなが触るドアノブやスイッチ、トイレ等)を消毒する。
- 子どもたちがはずしたマスクを一時的に入れたり置いたりするための清潔なビニール袋や布等を準備する。
- 使い捨てのものもうまく活用する。(食器・ふきん・ペーパータオル等)

参加費はできるだけおつりのないよう徴収し、直接箱に入れてもらうなどしてスタッフは直接触れないようにしましょう。



②スタッフの準備

確認してチェック☑

- p1③の★に該当する人は参加しない。
- 集合時に検温と健康確認を行う。
- 準備の時からマスクを着用し、入念な手洗いやアルコール消毒液で手指を清潔に保つ。
- 可能な限り、スタッフは役割を決めて、その役割に専念する。
(調理スタッフと子どもの見守りスタッフを分ける等)
- 高齢者のスタッフはできるだけ参加者と直に接触しなくていいように担当を考える。

体温計は使用するたびに消毒をするとより安心です。
(肌に直接触れないタイプの体温計(非接触型)があればなおよいです。)



③参加者に対して

確認してチェック☑

- 可能であれば参加者全員の検温と、健康状態などの確認をする。
- 乳幼児以外の参加者にはマスクの着用をお願いする。マスクを持参できない人には、準備していたマスクを提供する。
- 入場前に、手洗い、アルコール消毒による手指の消毒を行う。
- 食事の前後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ際にも手洗いを行うよう促す。
- できるだけ1m以上の距離を保って過ごしてもらう。
- 万が一感染が確認されたとき等に連絡がとれるよう、連絡先を聞いておく。



もし当日その場で帰ってもらわないといけない場合には、理解してもらえよう丁寧に理由を説明できるようにしましょう。



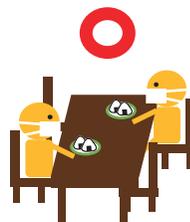
④食事や遊びのときの工夫

確認してチェック☑

- 換気を十分に行う。(1時間ごとに数分程度(目安))
- ものを使う遊びの前後は手洗いをする。
- 屋内では大声ではしゃがず、食事の場では走り回らないように注意する。
- 席は移動しないようにし、食事中はおしゃべりを控えるよう促す。
- 席の間隔をあけ、できるだけ対面しないようなレイアウトにする。



あいだを一席ずつ開けて座る



対面で座らない

- 参加者が取り分ける形式での食事はしない。子ども同士の飲み物の回し飲みにも注意。
- 調味料やドレッシング等、参加者同士が共有して使用しない。
- 公民館等、不特定多数の人が使用する食器を共用する場合は、洗ってから使用する。

せっかく楽しい雰囲気できている時に過度に制限しすぎるのもつらいことなので、会場のレイアウトや子どもたちの動線の工夫など、できる範囲で工夫しましょう。食事が終わったらマスクをつけておしゃべりを楽しみましょう。



- 食材はできるだけ室温に置かず、冷蔵保管し、調理後は速やかに食べるよう十分に注意する。(気温や湿度が高くなると、食中毒のリスクも高まります。)
- マスクの着用により熱中症の危険も高まるため、こまめに水分補給を促すなど、特に子どもの様子には注意する。(2歳未満の子どもは、窒息や熱中症の危険が高くなるため着用は推奨されていません。)
- 換気をしながらエアコンの温度設定をこまめに調整するなど、温・湿度の管理に努める。

※環境省と厚生労働省では、屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクを外すよう勧めています。着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人と距離を十分に取った上で、必要に応じてマスクを外し、休憩を取りましょう。

2. こんな工夫もできるかも！実践者からのアイディア

◆食材等の配付で子どもたちとつながる

※食材や購入したお菓子の配付をする場合は、冷蔵保管する、速やかに食べるよう呼びかけるなど食中毒対策を徹底しましょう。自分たちで調理した弁当を配付する場合は、食品衛生法の営業許可が必要になります。(食品衛生法の営業許可については最寄りの保健所までお問合せください)



受け取りの際の「密」を避けるよう、線を引いて間隔をあけて並んでもらい、モノを渡すカウンターではフィルターを貼るなどすると飛沫感染を防止できます。

◆食事を提供せずにやってみる

「遊び」や「学び」の時間を中心に居場所を提供する。

◆食事の時間をずらす

参加人数が多い子ども食堂は、食事時間を2班に分けてみる。

◆屋外を活用する

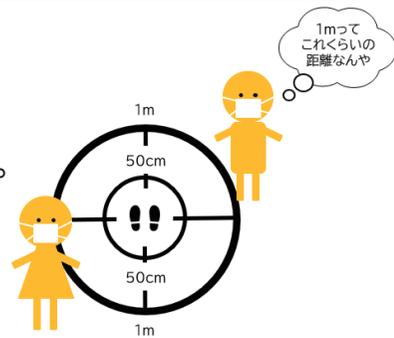
環境があれば、屋外で食事をする。※熱中症には要注意

◆遊びの中で、子どもたちに伝えていく

友達との「1メートル*」の距離を実感できる円を書いてみる。

*文部科学省『新しい生活様式』をふまえた学校の行動基準」に基づく。

◆気を付けるポイントを貼りだす等して、スタッフ間で常に共有する



「お弁当作りや配食で気をつけたい衛生のポイント」
(一般社団法人全国食支援活動協力会こども食堂サポートセンター作成2020.4.24版)
調理や盛り付け時に参考になるポイントが掲載されています。

(リーフレットのダウンロードはこちら
→http://mow.jp/pdf/eisei_kodomasaposen20200424)



- M E M O -



「私たちの子ども食堂はこうしよう」
「こういう準備をしよう」など、
話し合って決めたことを
残すページとしてご活用ください。

お知らせ

Information



新型コロナウイルス感染症や、子ども食堂等の活動に関する情報を集めました。
少しでもみなさまのお役に立ちますように。

滋賀県ホームページ (新型コロナウイルス感染症について)



<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/yakuzi/309252.html>

NPO法人全国子ども食堂支援センター むすびえ

<https://musubie.org/>



「小児科医監修子ども食堂・フードパントリー開設簡易ハンドブック」

https://musubie.org/wp/wp-content/uploads/2020/05/musubie_openguide_0511.pdf



東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド第1版・チェックリスト 2020年5月27日発行

<https://www2.tmig.or.jp/spch/>



文部科学省が策定した「学校の新しい生活様式」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html



- このハンドブックは、滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局のご助言を経て作成しました。
- このハンドブックに掲載している内容は、今後の状況により変わる場合があります。

ご連絡
お問い合わせ

子ども食堂つながりネットワークSHIGA 事務局
滋賀の縁創造実践センター 滋賀県社会福祉協議会

〒525-0072 草津市笠山七丁目8-138
TEL 077-567-3924 FAX 077-567-5160
E-mail shiga-hug@shigashakyo.jp



「子どもの笑顔はぐくみ
プロジェクト」HP
<http://shiga-hug.jp>